

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成１８年度）

平成１９年 １０月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	3
2. 調査の集計結果	5
2-1 観光客の現状	5
(1) 調査の概要	5
(2) 調査結果	7
2-2 宿泊客の現状	24
(1) 調査の概要	24
(2) 調査結果	25
2-3 宿泊施設調査	40
(1) 調査の概要	40
(2) 宿泊施設の現状	41
(3) 宿泊客数	43
2-4 全国から見た名古屋の観光に関する評価	53
(1) 調査の概要	53
(2) 名古屋の観光の認知度・訪問状況	54
(3) 名古屋に対する評価	60
(4) 観光振興の条件	68
3. 資料編	74
(1) 主要観光施設への入込動向	74
(2) 名古屋のまちの印象	78

巻末 調査票

- 注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。
- 注2：文章や表、グラフに記してある構成比率（％）は、小数第2位で四捨五入しているため、総和が 100.0 とならない場合や、小計と内訳の総和が一致しない場合がある。
- 注3：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

1. 観光統計について

(1) 全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。

平成 18 年度については、全国観光統計基準に適合する 85 地点の観光入込客数を把握した。

(2) 入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 18 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,317 万人であり、平成 17 年度と比較して約 551 万人減少（対前年度比率 90.6%）した。

主な減少理由は、平成 17 年度に「愛・地球博」の名古屋市事業として「万博ささしまサテライト事業」（352 万人）と「新世紀・名古屋城博」（120 万人）が開催されたことである。

表 1-2-1 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類		平成 17 年度		平成 18 年度	
大分類	中分類	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	26	19,577,602	25	19,246,422
	産業観光	6	1,821,014	7	2,003,055
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	17	14,834,016	17	12,955,647
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	12	7,477,495	14	7,428,814
	イベント	24	14,967,916	22	11,538,634
計		85	58,678,043	85	53,172,572

注：行・祭事、イベントの地点数は、年度によって変動します。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問地点数（回遊率）を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 18 年度の観光入込客実人数は 3,074 万人であり、平成 17 年度と比較して 440 万人減少（対前年度比率 87.5%）した。

表 1-2-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度
観光入込客延べ人数（人）	58,678,043	53,172,572
回遊率（注）	1.67	1.73
観光入込客実人数（万人）	3,514 万人	3,074 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-2-3 宿泊客・日帰り客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	33.5%	66.5%
観光入込客実人数	3,074 万人	1,030 万人	2,044 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推計した。平成 18 年度の宿泊客実人数は 475 万人である。

表 1-2-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度
延べ宿泊客数（人）	7,135,833	6,288,947
宿泊客実人数（人）	4,472,967	4,752,837
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.60	1.32

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-2-5 居住地別宿泊客実人数

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	5.6%	94.4%
宿泊客実人数	475 万人	27 万人	448 万人

⑥宿泊客・日帰り客実人数の推計

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推計した。

表 1-2-6 宿泊客・日帰り客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客実人数	3,074 万人	1,030 万人	2,044 万人
宿泊客実人数	475 万人	27 万人	448 万人
日帰り客実人数	2,599 万人	1,003 万人	1,596 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を名古屋市内・市外別、宿泊客・日帰り客別に設定し、観光総消費額を推計した。平成 18 年度の名古屋市内の観光総消費額は、3,405 億円である。

表 1-3-1 観光総消費額の推計

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
宿泊客実人数	27 万人	448 万人	475 万人
日帰り客実人数	1,003 万人	1,596 万人	2,599 万人
宿泊客一人あたり消費額	20,200 円	21,463 円	
日帰り客一人あたり消費額	8,311 円	9,737 円	
宿泊客総消費額	55 億円	962 億円	1,017 億円
日帰り客総消費額	834 億円	1,554 億円	2,388 億円
名古屋市内観光総消費額	889 億円	2,516 億円	3,405 億円

②観光消費額の内訳

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を算出し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

表 1-3-2 観光客一人あたりの平均消費額

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客 食事費	8,309 円	2,211 円	8,469 円
宿泊客 交通費	2,710 円	1,737 円	2,737 円
宿泊客 土産費	5,151 円	2,184 円	5,229 円
宿泊客 宿泊費	12,177 円	11,447 円	12,202 円
日帰り客 食事費	2,731 円	2,489 円	2,878 円
日帰り客 交通費	1,237 円	677 円	1,610 円
日帰り客 土産費	1,547 円	1,117 円	1,810 円

表 1-3-3 旅行費用項目別総消費額

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
宿泊客 食事費総消費額	6 億円	379 億円	385 億円
宿泊客 交通費総消費額	5 億円	123 億円	128 億円
宿泊客 土産費総消費額	6 億円	234 億円	240 億円
宿泊客 宿泊費総消費額	31 億円	547 億円	578 億円
日帰り客 食事費総消費額	250 億円	459 億円	709 億円
日帰り客 交通費総消費額	68 億円	257 億円	325 億円
日帰り客 土産費総消費額	112 億円	289 億円	401 億円

表 1-3-4 旅行費用の内訳

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
食事費消費額	256 億円	838 億円	1,094 億円
交通費消費額	73 億円	380 億円	453 億円
土産費消費額	118 億円	523 億円	641 億円
宿泊費消費額	31 億円	547 億円	578 億円
その他消費額	411 億円	228 億円	639 億円
総消費額	889 億円	2,516 億円	3,405 億円